

課題名：潰瘍性大腸炎合併妊娠の現状と治療経過に関する検討

◆研究の目的と概要◆

本研究では、潰瘍性大腸炎を合併した妊娠例について岡山県西部地区での現状と治療の経過を調べることと、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2010年1月から、2022年9月までの間に、妊娠が判明した18歳以上の潰瘍性大腸炎（UC）の患者さんの中で、妊娠期間中に当院でUC治療を受けた患者さん

◆研究に使用される情報◆

患者背景（妊娠時）：年齢、UC発症年、病型、臨床経過、罹患年数、5-ASA不耐、
妊娠判明日、妊娠判明週数、ステロイド依存性/抵抗性、UC活動性、
直近の内視鏡検査所見、妊娠判明時の検査データ、投薬内容、外科
手術の有無

妊娠中経過：投薬内容の変更/中止の有無、妊娠中再燃、再燃週数、産褥期再燃、再燃週
数、再燃時の治療、治療後経過

出産後の経過：出産週数、出産日、出産方法、帝王切開理由、妊娠/出産経過の異常、
妊娠/出産異常の出現時期、妊娠異常の治療経過、新生児異常、新生児の
経過、授乳期間

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。川崎医科大学附属病院、チクバ外科胃腸科肛門科病院、渡辺胃腸科外科病院、佐藤胃腸科外科倉敷駅前内視鏡クリニック、川崎医科大学総合医療センターのデータを集積して倉敷中央病院にて解析を行います。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

◆研究代表施設◆

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 下立 雄一

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@へ変換ください）

◆共同研究機関及び研究分担者◆

川崎医科大学付属病院 消化器内科 塩谷昭子、松本啓志、半田修

チクバ外科胃腸科肛門科病院 IBD センター 垂水研一

渡辺胃腸科外科病院 外科 富岡憲明

佐藤胃腸外科倉敷駅前内視鏡クリニック 院長 佐藤嘉高

川崎医科大学総合医療センター 総合内科学2 石井学

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 下立 雄一

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明